

[論述課題]

内閣府による高齢者の自動車の運転に関する意識調査結果(図1, 2)から、60歳以上の高齢者の多くは自動車の運転を続けたいと考えている。しかしながら、警察庁によると、2010年の交通事故のうち、65歳以上の高齢者の自動車運転者が過失割合の大きい第1当事者となった交通事故発生件数は10年前と比較すると約1.5倍、75歳以上では2.2倍に増加している¹。

交差点での出会い頭事故、右折時の事故など、事故の多くは安全不確認、一時不停止の原因が原因で起きており²、最近では高速道路上での逆走や、アクセルやブレーキの踏み間違いによる事故なども起きている。高齢になるにつれ、判断力の低下やハンドル操作などに遅れが生じることが指摘され、自主的な運転免許の返納の呼びかけや、高齢者講習、さらに近年では認知機能検査³などが行われている。

しかし、これらの対策にもかかわらず、前述のとおり高齢者の交通事故は増加している。このような現状を踏まえ、高齢者の交通事故を低減・防止する解決策を提案し、その提案を導入する際の社会的コストや実現可能性についても言及しなさい。その要約を100字以内で記述するとともに、さらにその内容を700字以内で詳しく記述しなさい。

¹出展：日本経済新聞（夕刊） 2011年8月24日

²出展：警察白書平成17年度版

³出展：交通安全白書平成20年度版

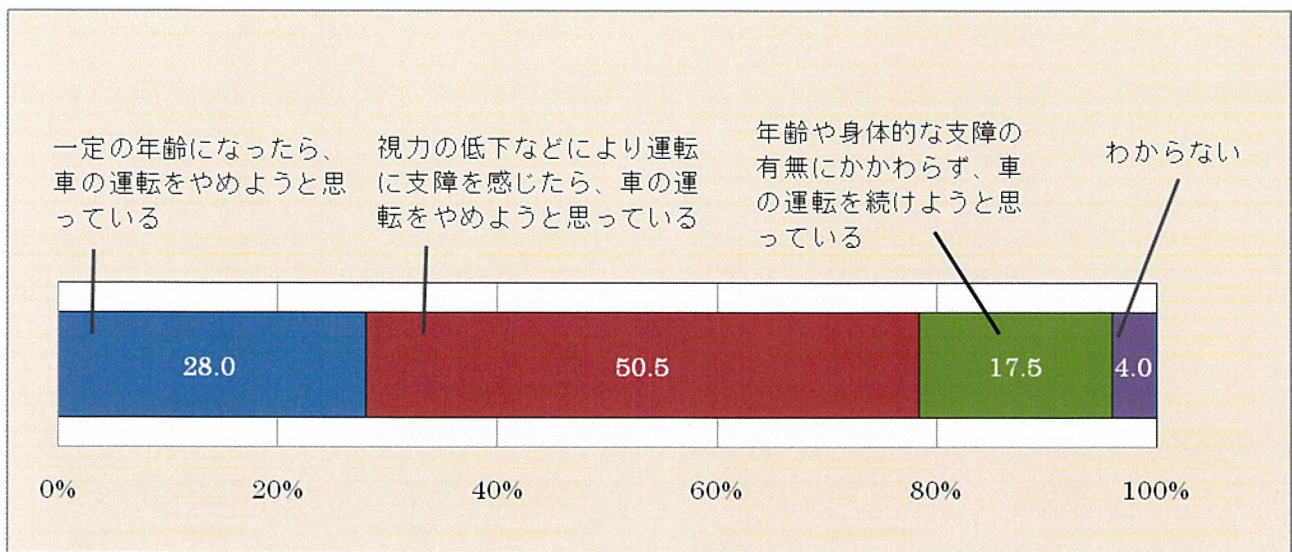


図1 いつまで車を運転し続けるか

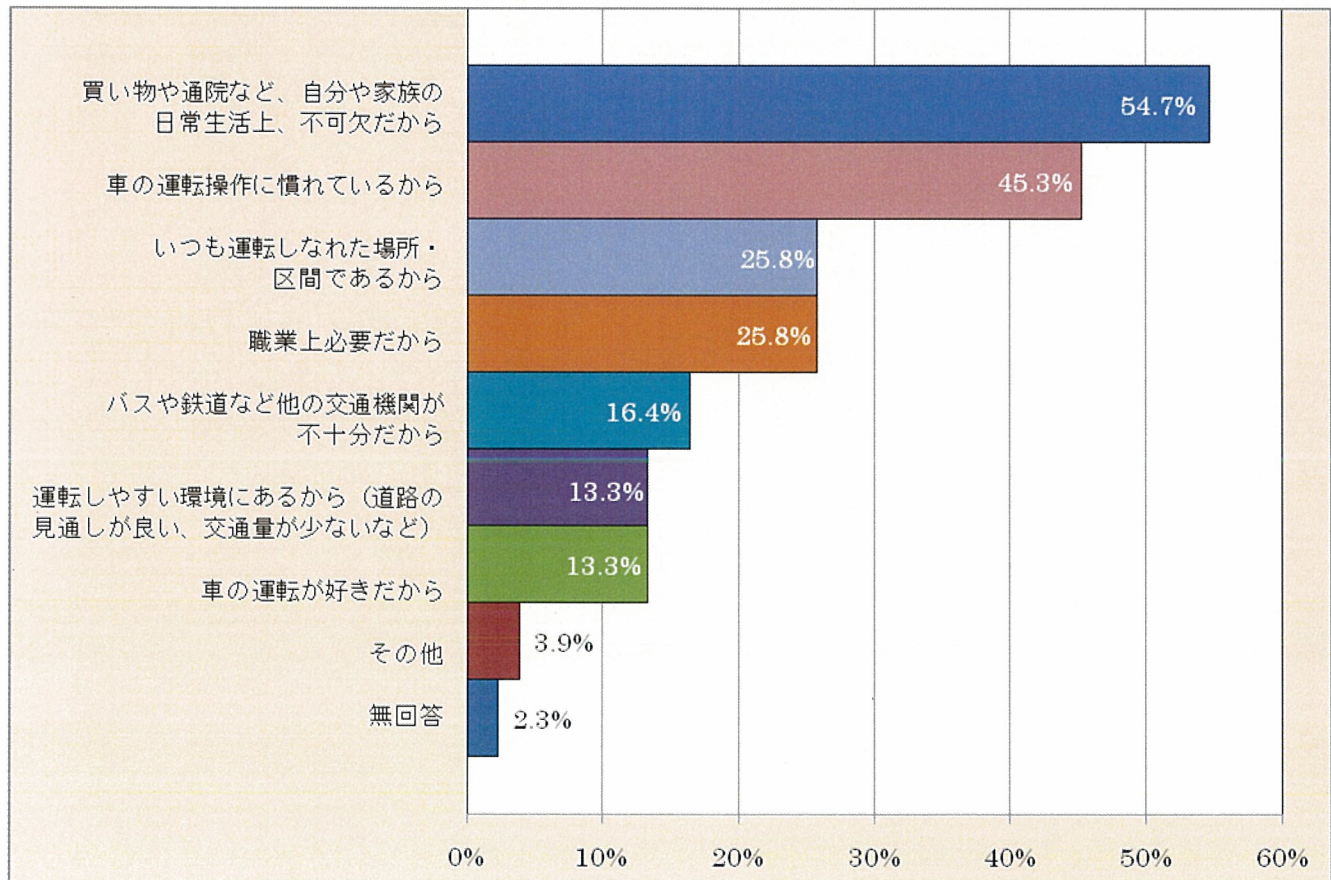


図2 年齢、支障にかかわらず車を運転し続ける理由は何か

データ：内閣府「高齢者の住宅と生活環境に関する意識調査」(平成18年)より

(注) 調査対象は、全国60歳以上の男女。